

年金資産運用の基本方針【概要①】

1 運用目的

当基金の年金資産の運用にあたっては、当基金の基金規約に規定した年金給付金及び一時金たる給付金の支払を将来にわたり確実にを行うため、基金の成熟度や実施事業所の状況、及び中期的な下振れリスクに留意し、許容可能なリスクのもとで長期運用との整合性に配慮しながら、またリスク全般の管理に重点を置きつつ、必要とされる総合収益を確保することを目的とする。

2 運用目標

各資産の市場収益率（ベンチマーク）を政策的資産構成割合（政策アセットミックス）に応じて組み合わせた収益率を長期的に上回ることを運用目標とする。

3 資産構成

基本となる投資対象資産の期待収益率、同収益率の標準偏差、同収益率間の相関係数を考慮した上で、将来にわたる最適な組合せである政策アセットミックス及びその乖離許容幅を別紙1に定める。また、これに基づく資産構成割合を維持するように努める。

この政策アセットミックスは、当基金の成熟度及び財政状況等を勘案し、専門的知識及び経験を有するものから意見を聴取の上、中長期的観点から策定する。また、必要に応じて政策アセットミックスの見直しを行うものとする。

各資産の市場収益率（ベンチマーク）

| 資産 | ベンチマーク |
|------------|---|
| 国内債券 | 野村証券金融研究所債券・パフォーマンス・インデックス(NOMURA-BPI)総合指数 |
| 新株予約権付社債 | 日興CBパフォーマンス・インデックス(総合) |
| 国内株式 | 東京証券取引所株価指数(市場第一部・総合)配当込み(TOPIX) |
| 外国債券 | シティグループ世界国債インデックス(日本を除く、円ベース) |
| 外国株式 | モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・コクサイ(MSCI-KOKUSAI)配当再投資(WITH DIVIDENDS REINVESTED)・税引き前(GROSS)指数(円ベース) |
| 生命保険(一般勘定) | — |
| オルタナティブ資産等 | 別に定める |
| 短期資金 | コール・ローン(翌日物・無担保) |

政策的資産構成割合（政策アセットミックス） 令和6年4月1日改定

| 資産 | 資産構成割合 (中心値) | 許容乖離幅 | |
|----------|-----------------|-------|------|
| | | 下限値 | 上限値 |
| 国内債券 | 10.0% | ▲10% | +10% |
| 新株予約権付社債 | 0.0% | ▲10% | +10% |
| 国内株式 | 20.0% | ▲10% | +10% |
| 外国債券 | 15.0% | ▲10% | +10% |
| 外国株式 | 25.0% | ▲10% | +10% |
| 短期資産 | 10.0% | ▲10% | +10% |
| 生保一般勘定 | 20.0% | ▲10% | +10% |
| 合計 | 100% | — | — |